

開催にあたって

第21回日本高気圧環境・潜水医学会 関東地方会学術集会

会長 守田 誠司

時下、本学会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、第21回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会総会学術集会を開催させていただくこととなりました。コロナ禍ということもあり開催形式に悩まされましたが、現在感染状況も小康状態であり現地開催と致しました。開催地は、神奈川県小田原市に昨年オープンしたばかりの小田原三の丸ホールで、小田原城の目の前という立地です。小田原は新幹線・東海道線・小田急線・大雄山線など多くの路線が乗り入れ、相模湾に面した風光明媚な場所で、新鮮な海鮮グルメも有名です。また小田原北条氏や明治時代の著名人の歴史的建造物なども多く、加えて隣地が日本有数の温泉地である箱根ということもあり、観光含めて学術集会にご参加いただければと思います。

本学術集会のテーマとして、「次世代へ繋げ高気圧酸素治療！～ For The Future～」とさせていただきます。高気圧酸素治療は閉鎖空間で圧をかけ、酸素を投与するという非常に単純なメカニズムではありますが、生体に及ぼす反応や影響は大きく、まだまだ潜在能力のある分野であると考えます。高気圧(酸素)治療は諸説がありますが、約300年前からさまざまな研究や疾患に対する治療が行われてきており、現在行われている医療のなかでは古くから行われている医療の1つです。このような歴史ある治療を未来へ向けて(For The Future)、更に発展させるべく、さまざまな分野で常識にとらわれない新たな研究や報告が重要となると思われます。本学術集会では、職種を問わず自由に発表をしていただき、さまざまな意見を交えた自由な議論をしていただくことで、新たな発想や応用を導き高気圧酸素治療の次なる道を切り開く一助になればと思います。

高気圧酸素治療では減圧症は切っても切れない関係であるため、ダイバーなど海に関係する方々も気軽に参加できるように、同日の午前中に、海洋医療における初期対応研修をコンセプトとした海洋医療初期対応コース(Immediate Care of Marine Medicine: ICMM)を開催いたします。こちらのご参加もよろしくお願いいたします。

第21回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会学術集会

日 時：2022年6月18日(土) 12:30開会 (12:00受付開始)

場 所：小田原三の丸ホール 小ホール

神奈川県小田原市本町1丁目7-50 HP: <https://ooo-hall.jp>

同日開催：海洋医療初期対応コース
(Immediate Care of Marine Medicine: ICMM)

このコースは、医師、看護師、救急隊員などの医療関係者、マリンスポーツ、職業潜水、高気圧環境下の作業に関わる者を対象に、海洋医療における初期対応研修をコンセプトとしたコースとなっています。是非、ご参加下さい。当日参加も可能ですが、研修資料をPDFにて配信する予定です。事前登録をお願いします。

開催時間 9:30-12:00

申込先 hbo.kanto2022@gmail.com

件名に「ICMM申し込み」とし、受講者の所属と氏名を記載して下さい。

参加のご案内

●運営要項

①開場・受付

6月18日(土)12:00より、受付・開場致します。

②参加登録

- ・参加受付で参加費 2,000 円をお支払い下さい。領収証兼参加証をお渡ししますので、入場の際にご着用ください。
- ・本学会参加により、日本高気圧環境・潜水医学会が定める高気圧酸素治療専門医の生涯教育単位(4単位)を取得することができます。また本学会中技師シンポジウム(安全セミナー1)と安全セミナー2を合わせて受講いただくことにより、安全セミナー受講2単位が更に取得できます。

③懇親会

COVID-19 感染症拡大を鑑みて本会では開催いたしません。

●口演発表要項

- ① 発表時間は、一般演題 10分(発表7分、質疑応答3分)、シンポジウム発表 12分(全演者発表後に全体討論あり)を予定しております。
- ② ご発表は事務局でPC(Windows10)を用意しております。パワーポイントファイルにてプレゼンテーションをお願いします。プレゼンテーションファイルはUSBにてお持ちいただくか、ご自身のMacintosh PCをお持ち込みなさる場合は、接続アダプターのご持参をお願いします。
- ③ ご発表に先立ちまして、動画再生の可否など、受付用PCにて予め動作具合の試写をお願い申し上げます。
- ④ 演者は、ご発表セッションの30分前までに受付をお済ませ下さい。

●日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会誌への投稿のお願い

本会で発表されました貴重なご演題につきまして、日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会の学会特集号に演題論文を掲載させていただければ幸甚に存じます。是非とも関東地方会誌に玉稿を賜りますようお願い申し上げます。

●日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会への入会のご案内

日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会への入会をご希望される方は、関東地方会誌巻末の申し込み書に必要事項をご記入の上ファックスして下さい。なお、当日会場受付でもご申請できます。

●交通アクセス

新幹線・電車でお越しの場合

(JR東海道新幹線・東海道本線、小田急小田原線、
伊豆箱根鉄道大雄山線、箱根登山鉄道)
小田原駅 東口より徒歩約10分

お車でお越しの場合

(ナビ入力：神奈川県小田原市本町1丁目7-50)
小田原厚木道路「萩窪IC」から約10分
西湘バイパス「小田原IC」から約5分
東名高速道路「大井松田IC」から約40分

小田原三の丸ホール外観



●お問い合わせ

担 当：東海大学医学部 救命救急医学 守田 誠司
T E L 0463-93-1121
F A X 0463-95-5337
E-mail hbo.kanto2022@gmail.com

第21回日本高気圧環境・潜水医学会 関東地方会 学術集会プログラム

【会 期】2022年6月18日 土曜日 【会 場】小田原三の丸ホール 小ホール

9:00	開 場
9:30	講習会「海洋医療初期対応研修 Immediate Care of Marine Medicine (ICMM)」
12:00	受付開始
12:30	開会の辞 第21回日本高気圧環境・潜水医学会 関東地方会学術集会 会長 東海大学 守田 誠司
	シンポジウム1【減圧症 ベストな治療と新しい知見】 座長：けいゆう病院 病理診断科 堂本 英治
	「症例に応じた適切な再圧治療」 亀田総合病院 高気圧酸素治療室室長 鈴木 信哉
	「第1種装置による減圧症治療の検討」 牧田総合病院 脳神経外科 土居 浩
	「減圧障害の治療 沖縄県の現状と臨床工学技士の役割」 沖縄南部徳洲会病院 臨床工学部 向畑 恭子
13:20	シンポジウム2【次世代に向けて高気圧酸素治療を考える】 座長：横浜労災病院 臨床工学部 寺田 直正 大久保病院 臨床工学部 折原 和広
	「高気圧酸素治療教育を取り巻く現状と養成校の取り組み」 群馬医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学専攻 立原 敬一
	「高気圧酸素治療安全基準の成り立ちと変遷」 HBO テクノ・アドバイザー 森 幸夫
	「高気圧酸素治療における臨床工学技士の将来像と展望」 東海大学医学部附属病院 臨床工学技術科 小森 恵子
14:10	休 憩
14:20	関東地方会総会
14:30	

14:30

一般演題【医師・看護師関連】

座長：東海大学医学部 救命医学 三浦 直也

「高気圧酸素治療装置がない救命救急センターにおける一酸化炭素中毒患者への対応」

順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科 柳川 洋一

「当院におけるスポーツ選手2名の高気圧酸素治療経験」

東京曳舟病院 救命科 三浦 邦久

「圧気潜函工事における圧外傷の罹患状況と背景因子：アンケート調査より」

防衛医科大学校脳神経外科講座 和田孝次郎

「クルーザーの事故による一酸化炭素中毒」

牧田総合病院 脳神経外科 土居 浩

「Dr.Heliダイビング事故チェックリストの運用について」

順天堂大学医学部附属静岡病院 看護部 鬼塚 味佳

「浮上直後に両眼の一過性視力障害を来したダイバーの一例」

静岡済生会総合病院 脳神経外科 石山 純三

15:20

一般演題【技師関連】

座長：東海大学医学部附属病院 臨床工学技術科 小森 恵子

「新型コロナウイルス感染症蔓延下の高気圧酸素治療における酸素投与方法の検討」

東京医科歯科大学病院 MEセンター 桜沢 貴俊

「網膜動脈閉塞症の発症から高気圧酸素治療開始までの時間と治療効果の比較検討」

東海大学医学部附属病院 臨床工学技術科 相馬 由利

「高気圧下における落差の点滴流量変化について」

東海大学医学部附属病院 臨床工学技術科 門馬 陽平

「異なる酸素投与方法で施行した側孔付き気管切開チューブ挿入患者の1例」

東京医科歯科大学病院 MEセンター 梅田 晃治

「当院における高気圧酸素治療に対する感染対策」

東海大学医学部附属病院 臨床工学技術科 植村 友樹

「第一種高気圧酸素治療装置における減圧症治療の実際と課題」

牧田総合病院 CE部 金井 克好

16:30

閉 会

注：2022.5.20現在（プログラムの時間が変更される場合があります。予め承知おきください。）